

第1回米子市行政改革推進委員会における主な質疑・意見と検討事項の調整結果

質疑、意見等	答弁、処理方針、検討事項
<b>1 大綱の名称</b>	
<p>【要請】委員会として大綱の名称を行財政改革にするよう要請する。</p>	<p>【答弁内容】 了解。 【調整結果】 行革本部として名称を行財政改革大綱とすることとした。</p>
<b>2 委員会の議事概要・議事録について</b>	
<p>【確認・了解】 委員会の議事概要の公表について了解する。</p>	<p>《調整結果》 議事録の形で公表する。</p>
<p>【質問】 欠席した場合、欠席者への資料はあるのか。</p>	<p>【答弁内容】 議事録を作成する。(議事録等を送付する。)</p>
<b>3 委員会の意見のとりまとめについて</b>	
<p>【委員会内部での提案】 第2回委員会で大綱(案)が示されたあと、委員会内部で賛同がられれば、ワーキンググループで意見を取りまとめたい。</p>	<p>《調整結果》 会議場所の確保等必要に応じて協力する。</p>
<b>4 策定方針について</b>	
<p>【意見】 大綱の策定にあたって、合併の過程にも留意する必要がある。</p>	<p>《検討課題》 策定方針には掲げていないが、一定の留意はする。</p>
<b>5 財政見通しについて</b>	
<p>【質問】 平成22年度以降も、赤字は継続し、赤字幅が拡大するのだろうか。</p>	<p>【答弁内容】 国の三位一体改革等非常に先行き不透明な状況にあるが、現在のままの状況で推移したらという前提でいけば、この赤字幅はさらに広がるものと見込んでいる。</p>
<p>【質問】 基金残高の推移と実質収支の推移がありますが、将来的に基金が底をつくという見込みがあるのだろうか。また、赤字再建団体になる可能性があるのかないのか。</p>	<p>【答弁内容】 このまま、何の対策もしなければ、平成18年度には、財政調整に利用できる基金は全てなくなり、平成21年度には、約45億円の赤字の見通しである。</p>
<p>【要望】 10年、20年先の推計グラフを是非、見せていただきたい。</p>	<p>《調整結果》 平成22年度以降の財政推計は出していない。なお、何の対策もしなければ、赤字額がさらに広がる見通しである。</p>
<p>【要望】 定員適正化計画で10年先を見通しているのだから、平成22年以降の財政推計を見せていただきたい。</p>	<p>《検討課題・調整結果》 平成22年度以降の財政推計は出していない。 なお、定員適正化計画や大綱の実施計画と財政見通しとの関係では、それらの計画による削減目標が明らかになった段階で、その数値を反映させた推計を作る必要があると考えている。</p>

<b>6 項目別の削減目標について</b>	
<p>【意見】 経費が、どの項目でいくら減るのが市民の知りたいところであり、それをふまえてプランを市民が承知するかどうかという点がある。</p>	<p>《検討課題・調整結果》 財政健全化プランは、検討の方向性を示したもので、個々の削減項目については、行財政改革大綱の実施計画で示していきたい。</p>
<p>【質問】 実施計画の段階では、具体的施策を行った結果、どこまで経費を削減するのかという、削減目標数値が盛り込まれるのか。</p>	<p>【答弁内容】 実施計画の中に、全部、目標数値が盛り込まれるとは言い切れない部分があるが、なるべく数値的な目標は出したい。</p>
<p>【質問】 委員会として、これぐらいは目標にすべきではないか、という意見を述べて、差し支えがあるのか。</p>	<p>【答弁内容】 差し支えはない。</p>
<b>7 目標・ビジョン・目的</b>	
<p>【意見】 目標の1番目には、地方分権化時代に即した新しい価値観へ転換し、官主導の考え方から、住民が満足を得られるようなサービスをどのように提供していくかということの基本にした目標を掲げるべきではないか。 効率的な市役所ということだけではなく、それと一体となった新しい価値観をめざす必要がある。</p>	<p>《検討課題・調整結果》 住民満足度の向上の観点からは、個々の事務事業にとって重要であり、今後も、各部署における事務事業の推進に当たって留意すべきものと認識している。 なお、地方分権の考え方については、市民の負担と選択による行財政運営という分権型社会システムの必要性を意識しながら、その前提となる行財政の透明性や持続可能な行財政運営について、目標の2番目に掲げたところである。</p>
<p>【意見】 経営感覚が必要。目標の2番目には、経営者としての経営感覚に着目した目標を掲げるべきではないか。</p>	<p>《検討課題・調整結果》 行財政運営の厳しさが増す中で、これまで以上に、コスト意識や費用対効果などの経営感覚を意識した事務事業の実施が求められており、行財政改革大綱の目標の一番目に、効率的な市役所の実現を掲げている。 なお、目標の記載順序により、受ける印象が異なるが、市としては、財政危機を重く考えており、特にこの点を最初に掲げたものである。</p>
<p>【意見】 市民のために行政改革をやるべきであり、行政改革をすることによって、どのような米子市になるのが、目標の前段にあるべきではないか。</p>	<p>《検討課題・調整結果》 市の将来像については、主に、総合計画やまちづくり計画に示され、行財政改革は、行財政全体の効率化や市民の参画等、目標を早く達成したり、適切に事業を進めていくための一つの手段という側面がある。 このため、行政改革で市の未来を語れるのは、効率性や、透明性の高い行財政運営といった抽象的な表現にならざるを得ないが、市民とともに、この厳しい状況を乗り越えていく必要があるので、できるだけ市民の理解を得られるよう留意しながら、行財政改革大綱や実施計画を策定し、推進していきたい。</p>

<p><b>【意見】</b>          財政改革が中心で、ビジョンが見えにくい。何を目標に改革をするかをきちんと押さえないければ、福祉、男女共同参画など、いろいろ細かいところが抜けてしまうのではないか。</p>	<p><b>《検討課題・調整結果》</b>          福祉、男女共同参画など、個々の施策の目標は、総合計画に掲げられていくものと考えている。          行財政改革大綱は、そうした目標達成へのプロセスを側面から、効率的に進めたり、無駄ムラを省くように働きかけるといった観点を中心になるので、電子化など特に効率化等に関連のある分野しか触れていない。          また、協働の推進に関しても、幅広い分野が対象になるので、特に、福祉や男女共同参画等個別の分野について触れていない。          なお、行政改革でそれらの分野については直接ふれていないが、それぞれの分野で従来から目標を掲げて充実に向けて取り組んでいるところである。</p>
<p><b>【意見】</b>          実施計画が具体的にみえないと、今のプランがいいかどうかということ判断しかねる。</p>	<p><b>《調整結果》</b>          実施計画の素案については12月に提出する。</p>
<p><b>8 行政評価制度・事務事業の抜本的見直しについて</b></p>	
<p><b>【意見・質問】</b>          本当に効率の悪い行政サービスとは、住民の望まない、ニーズのない行政サービスのことと考えるが、住民ニーズの有無の判断については、市の職員だけでなく、市民の目を入れるべきではないか。          どのようなやり方をするのか。</p>	<p><b>【答弁内容】</b>          事務事業評価の評価結果は公表し、市民等の意見を聴くことにしていますが、今後、外部の意見も踏まえ、評価自体が正しいかどうかを検証する必要があると考えている。</p>
<p><b>【意見】</b>          逆に、効率化を図るべき事業については、コストや費用対効果を重視して効率化を進めなければならない。</p>	<p><b>《検討課題》</b>          効率化については、そういう考え方で進めていきたい。</p>
<p><b>【意見】</b>          行政評価についても、担当から課長、局長と段階的に評価して決めるだけでなく、市民の目で評価していかないといけない。          行政側が、何かの固定観念で改革をやっているのではないかといわれないためにも、そういう点を改善し、幅広く、いろんな意見が入ってくるように考えていただきたい。</p>	<p><b>《検討課題・調整結果》</b>          検討していきたい。</p>
<p><b>【質問】</b>          行政評価制度等による監視機能の充実とは、具体的に、どういうことか。</p>	<p><b>《検討課題・調整結果》</b>          見直しのためのチェック機能の強化という考え方から、行政監査をつうじて、事務事業の改善を図るとともに、個々の事務事業評価を超えた、施策ごと、政策ごとの行政評価を実施し、より大きな観点からの改善を進めていきたいと考えています。</p>

<b>9 定員の適正化</b>	
<b>【意見】</b> 職員数の削減は、それぞれの市で検討されるべきことで、国の方針にすべて従うのではなく、独自の検討を加えて、無駄、ムラをなくしていく必要がある。	<b>《検討課題・調整結果》</b> 必ずしも、国の指針だけにとらわれているわけではなく、国の基準を参考にしながら、米子市独自の検討を進めていきたい。
<b>9 - 2 定員適正化及び民間移管、民間委託推進計画の策定方針</b>	
<b>【要望】</b> 定員適正化の数値目標（54人削減、マイナス5.9%）とは別に、協働を推進すれば、それによっても市役所の人員が不要になる。そうした協働による定員の減以上に削減されるのかどうか分かる資料がほしい。	<b>【答弁内容】</b> 資料を提出します。定員の適正化は、もちろん、職員の数だけでなく、民間移管、民間委託ということをにらみながらやらないといけないという面がある。 <b>《検討課題・調整結果》</b> 年内に定員適正化計画を策定し、提出する。
<b>【資料請求】</b> 人件費の年齢別構成とか年齢別人件費などあれば、是非お見せいただきたい。それから退職積立金の状況、推移もお見せいただきたい。	<b>《調整結果》</b> ・ 一般行政職の年齢別の職員数・給与について、別紙資料のとおりである。 ・ 職員退職手当基金の過年度の状況については、別紙資料のとおりである。
<b>【質問】</b> 葬祭員の一般事務への職種転換は、業務の効率化にならないのではないかと。	<b>【答弁内容】</b> 市営葬儀事業が廃止になりますので、財政的な面では効率化につながる。 なお、事業廃止に伴う低所得者層のフォローについては、別立ての対策を考えている。
<b>10 外郭団体</b>	
<b>【質問】</b> バランスシートがないのでわからないが、市の外郭団体に損失補償あるいは債務保証契約といったものがあるのかどうか。	<b>【答弁内容】</b> 次回に回答します。 <b>【調整結果】</b> 外郭団体の解散や金融機関の借入れに際しての損失補償や債務保証について市の予算で議決を受けているものがありますが、実際に契約書を締結しているのは、1件だけです。
<b>10 人件費の適正化</b>	
<b>【意見】</b> 職員賃金等の問題については、今のままで赤字が続いていくと、ずっと賃金カットを考えるとということになるが、地域経済への影響も考えていただきたい。	<b>《検討課題》</b> 行政改革全体の中で、適正な給与のあり方について検討し、適正化に努めていきたい。
<b>11 受益者負担の見直し</b>	
<b>【意見】</b> 受益者負担の見直しについては、一律的に負担を求めるのではなく、弱者の方に優しい対応を考えて、取り入れていただきたい。 また、市民に負担を強いるものについては、説明責任をきちんと果たして市民と行政の軋轢がないようにする必要があるのではないかと。	<b>《検討課題》</b> 行政サービスの原価を考慮しながら、適正な負担割合やサービス原価の縮減の対策等さまざまな角度から検討しながら、見直しを進めていきたい。

<b>12 組織の活性化と職員の能力開発</b>	
<p><b>【意見】</b> 住民が満足を得られるようなサービスをどのように提供していくかということを基本にした新しい価値観の風土が必要</p>	<p><b>《検討課題》</b> 仕事をつうじた職場研修の中で、そのような視点を養っていききたい。</p>
<p><b>【意見】</b> 実際に行政改革、財政改革をするに当たって、現場職員の意識が本当にその気にならないと、とてもこれだけの項目の改革はできない。現場の職員にそういう意識を持っていただく意味からも、まず、人事評価システムの導入等を進めるなど、改革実現のための推進体制を考えていただきたい。</p>	<p><b>《検討課題》</b> 人事評価システムの構築を進めます。</p>
<p><b>【意見】</b> 他の自治体・公益法人等への派遣・出向は、本当に思ったことを率直に発言できるうえ、いままで、見えなかったものも見えてくるという点で、非常にこれが効果をあげている。過去に、職員の派遣・出向を実施したことがあるのかどうか。</p>	<p><b>【答弁内容】</b> 現在、税務関係で、県と相互派遣している。 <b>《調整結果》</b> 相互派遣 ・鳥取県との間で1名(17年度～) 派遣 ・とっとりコンベンションビューロー 1名(平成7年度～) ・鳥取県産業振興機構 1名(平成15年度～) ・自治体国際化協会 1名(17年度～)</p>
<b>13 その他</b>	
<p><b>【要望】</b> 資料の中に、行政言葉があって、一般には分かりにくい。分かりやすい言葉で資料を作っていただきたい。</p>	<p><b>《検討課題》</b> 出来る限り分かりやすい言葉にするよう努力するとともに、必要に応じて注釈をつけるようところがける。</p>

職員退職手当基金残高の状況

年度	年度末残高(単位 千円)	備考
元	697,723	
2	529,781	
3	216,049	
4	81,691	
5	88,408	
6	88,457	
7	90,270	
8	1,447	
9	1,454	
10	1,457	
11	1,462	
12	1,464	
13	1,466	
14	1,467	
15	1,468	
16	1,469	

年齢別、学歴別職員数及び給料月額に関する調  
(その1 一般行政職)

団体コード	表番号
3 1 2 0 2 9	7 2 7 8

都道府県名	鳥取県
市区町村名	米子市

区 分	行 番 号	合 計										行 番 号	28～31歳		32～35歳		36～39歳		40～43歳			
		職員数		平均給料月額		職員数		平均給料月額		職員数			平均給料月額		職員数		平均給料月額		職員数		平均給料月額	
		A 人	(a) 百円	B 人	(b) 百円	C 人	(c) 百円	D 人	(d) 百円	E 人	(e) 百円		F 人	(f) 百円	G 人	(g) 百円	H 人	(h) 百円	I 人	(i) 百円	J 人	(j) 百円
合計(ロ～への計)	イ 0 1 0	560	3,589	0	0	0	0	4	1,716	32	2,005	0 1 1	82	2,416	58	2,865	55	3,530	77	3,857		
大学卒	ロ 0 2 0	378	3,517					1	1,774	31	2,011	0 2 1	58	2,381	40	2,845	39	3,575	56	3,870		
短大卒	ハ 0 3 0	57	3,402					2	1,659	1	1,844	0 3 1	13	2,382	4	2,983	9	3,266	6	3,847		
高校卒	ニ 0 4 0	125	3,894					1	1,774		0	0 4 1	11	2,641	14	2,891	7	3,614	15	3,813		
中学卒	ホ 0 5 0	0	0						0		0	0 5 1		0		0				0		
再任用	ヘ 0 6 0	0	0						0		0	0 6 1		0		0				0		
給料月額総額	合計	200,998,800 円		0 円		0 円		686,500 円		6,417,200 円			19,811,000 円		16,619,700 円		19,412,700 円		29,701,500 円			
	大学卒	132,935,700						177,400		6,232,800			13,809,500		11,379,400		13,943,900		21,673,600			
	短大卒	19,390,300						331,700		184,400			3,096,600		1,193,100		2,939,100		2,308,300			
	高校卒	48,672,800						177,400					2,904,900		4,047,200		2,529,700		5,719,600			
	中学卒	0																				
再任用	0																					

団体コード	表番号
3 1 2 0 2 9	7 2 7 8

区 分	行 番 号	44～47歳		48歳～51歳		52歳～55歳		56歳～59歳		60歳～63歳		行 番 号	64歳～67歳		68歳以上		年 齢			
		職員数		平均給料月額		職員数		平均給料月額		職員数			平均給料月額		職員数		平均給料月額		合計月数	平均年齢
		J 人	(j) 百円	K 人	(k) 百円	L 人	(l) 百円	M 人	(m) 百円	N 人	(n) 百円		O 人	(o) 百円	P 人	(p) 百円	Q 月	平均年齢		
合計(ロ～への計)	イ 0 1 2	79	4,086	75	4,222	71	4,483	27	4,661	0	0	0 1 3	0	0	0	0	281,786	41 年 1 月		
大学卒	ロ 0 2 2	58	4,100	39	4,215	42	4,509	14	4,687		0	0 2 3		0		0	185,856	41 年 0 月		
短大卒	ハ 0 3 2	10	4,102	4	4,218	7	4,413	1	4,583		0	0 3 3		0		0	27,361	40 年 0 月		
高校卒	ニ 0 4 2	11	3,993	32	4,230	22	4,455	12	4,637		0	0 4 3		0		0	68,569	45 年 9 月		
中学卒	ホ 0 5 2		0		0		0		0		0	0 5 3		0		0				
再任用	ヘ 0 6 2		0		0		0		0		0	0 6 3		0		0				
給料月額総額	合計	32,276,000 円		31,661,600 円		31,828,500 円		12,584,100 円		0 円			0 円		0 円					
	大学卒	23,780,900		16,438,900		18,937,800		6,561,500												
	短大卒	4,102,400		1,687,200		3,089,200		458,300												
	高校卒	4,392,700		13,535,500		9,801,500		5,564,300												
	中学卒	0		0		0		0		0										
再任用	0		0		0		0		0											